

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0902001

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	2	林業の振興	事 業 優 先 度	A		
単位施策	1	生産体制の強化	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	森林整備地域活動支援交付金		見 直 し 年 度			
事業期間	平成20年度～平成24年度		担 当 課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課	#N/A		
事業指標	森林施業計画の確実な実施を促進		ハート/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
事業目標	施業実施区域の明確化作業等の対象行為の実施 8団地		関 係 例 規・法 令 名			
住民参加 住民協働	2		関 係 個 別 計 画 名			

121	全 体 計 画 事 業 内 容	平成 20 年度 事 業 内 容	平成 21 年度 事 業 内 容	平成 22 年度 事 業 内 容	平成 23 年度 事 業 内 容	平成 24 年度 事 業 内 容
計 画 内 容	・交付金の交付 ・推進、確認、交付事務	交付金の交付 推進、確認、交付事務	交付金の交付 推進、確認、交付事務	交付金の交付 推進、確認、交付事務	交付金の交付 推進、確認、交付事務	交付金の交付 推進、確認、交付事務
計 画 事 業 費	事業費(千円)	91,796	18,328	18,763	23,522	17,280
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	69,789	13,614	13,940	19,054	12,876
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	22,007	4,714	4,823	4,468	4,404
実 績 事 業 費	事業費(千円)	83,186	18,462	18,457	23,580	14,800
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	63,315	13,715	13,715	19,055	11,092
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	19,871	4,747	4,742	4,525	3,708
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) ○森林整備地域活動 支援交付金  ○森林整備地域活動 支援推進事業補助金  【評価・実績】	(実施内容等) 交付金の交付 推進、確認、交付事務  ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 交付金の交付 推進、確認、交付事務  ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 交付金の交付 推進、確認、交付事務  ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 交付金の交付 推進、確認、交付事務  ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 交付金の交付 推進、確認、交付事務  ※前年度評価結果 A—継続/現状維持
第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	対象行為の実施 10団地	対象行為の実施 10団地	対象行為の実施 14団地	対象行為の実施 10団地	対象行為の実施 8団地
	年度達成率	101%	98%	100%	86%	57%
	全体達成率	20%	40%	66%	82%	91%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	森林整備地域活動支援交付金	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井 弘道
		評価者 作成者 職氏名	林務係長	福田 泰弘

平成24年度実施  
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	森林所有者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	対象行為の実施 8団地		
【抱える課題やニーズは】	森林所有者の森林施業意欲が減退しており、適時適切な森林施業が十分行われない森林が発生している。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	森林施業計画に基づく適切な森林整備の推進。		① 実績団地数 /対象行為の実施団地数の実績	目標年度	平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	森林の有する多面的機能が十分発揮される。			目標値	8団地
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	①協定の締結	森林の有する多面的機能の発揮を図るため、森林施業の実施に不可欠な地域における活動の実施等に関する事項を定めた協定を、各団地の代表者と町長が締結。	実績値	5団地	
	②対象行為の実施		達成度	62.5%	
	③交付金の交付		森林施業計画の計画期間を通じて地域活動を行った団地に対して、積算基礎森林1ha当たり4千円を交付。	達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	適切な森林整備を推進するためには、森林所有者による計画的かつ一体的な森林施業の実施が特に重要であることから、「作業路網の改良活動」等の地域活動を支援する必要がある。当該事業を実施しない場合、森林所有者の森林施業意欲の減退から、森林の荒廃化が懸念される。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	地域活動が確実に実施されることにより、適時適切な森林施業の継続的な実施が図られ、森林の有する多面的機能に寄与した。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	国の制度に則って行う事業であり、森林所有者等と締結した協定に基づき、適正に地域活動が実施されたと認められた場合に、交付対象者に交付金を交付する。また、交付単価は国の実施要領で定められたものであり、町独自に設定することはできない。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

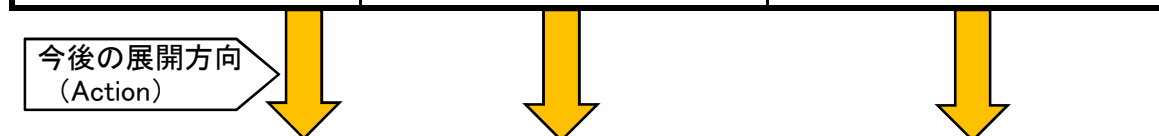
公平	判断の理由	森林組合が森林所有者の意向を確認したうえで団地を構成し、町との協定を締結している。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画的かつ一体的な森林施業の実施に必要な地域活動を行うことにより、適切な森林整備を推進することができた。		



終了		
平成24年度事業終了		

※展開方向の区分  
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 ○終了 ○休止 ○廃止